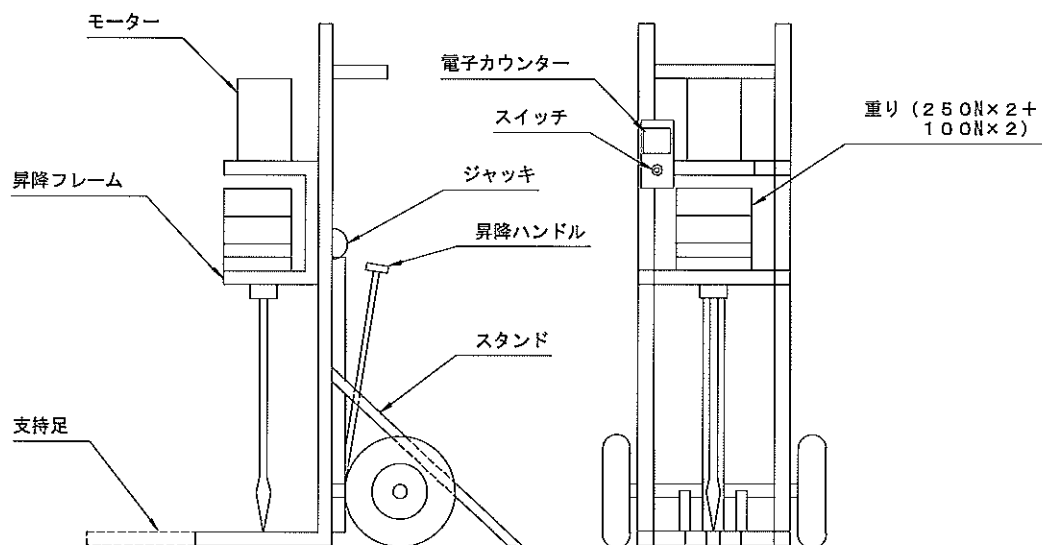
電動スウェーデン式貫入試験機取扱説明書

（　仕様　）

本体重量　：約６０ｋｇ
本体寸法　：Ｗ３００×Ｄ４３０×Ｈ１，５００mm
電動機　　：AC１００Ｖ・４００Ｗ
昇降　　　：油圧ジャッキ
回転数　　：３０ｒｐm/min
回転数表示：電子カウンター方式
昇降部重量：３００Ｎ
付属部品　：分銅　　１００Ｎ ―――― ２
　　　　　　　　　　２５０Ｎ ―――― ２
　　　　　　ロッド　　　１ｍ ―――― ９
　　　　　　　　　　８０ｃｍ ―――― １
　　　　　　ロッド携帯袋 ―――― １
　　　　　　スクリュウポイント ―――― １
　　　　　　ロッド取付具 ―――― １
　　　　　　固定金具 ―――― １
　　　　　　ターンバックル ―――― １
　　　　　　パイプレンチ ―――― ２
特別付属品：発電器

（　特徴　）

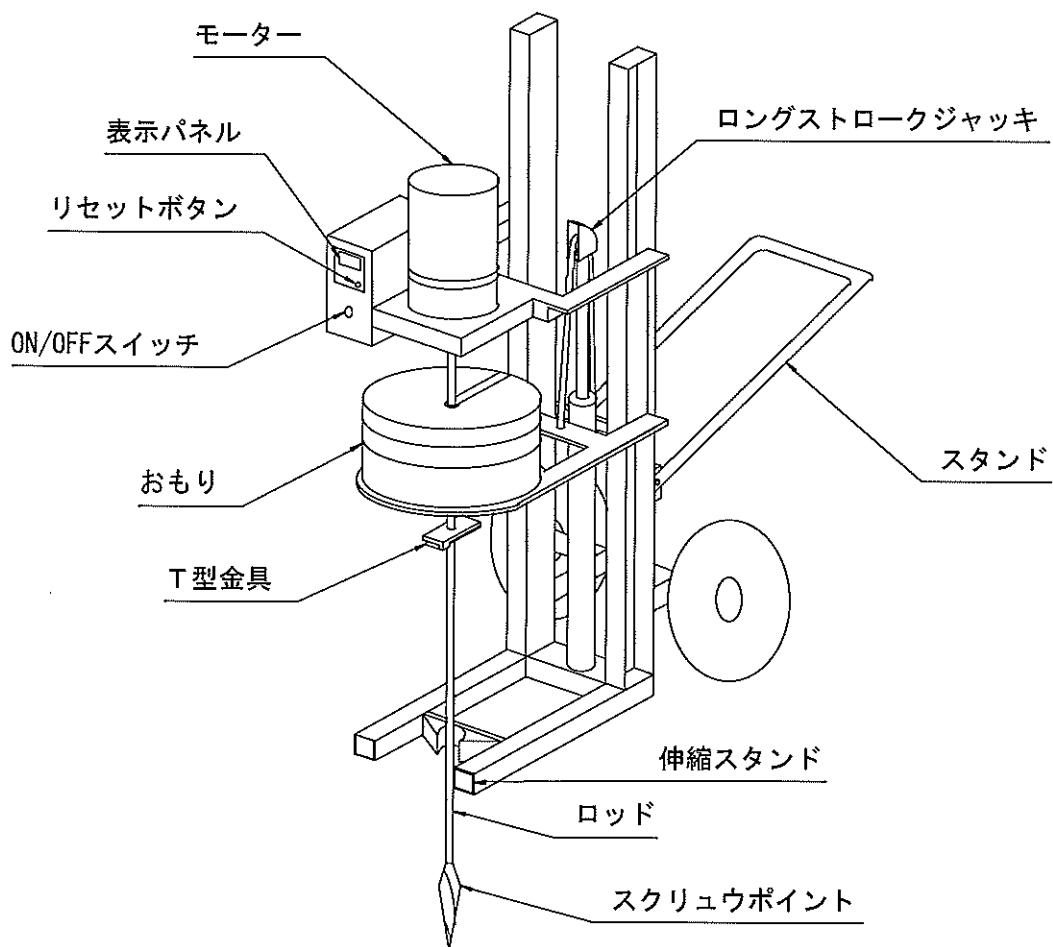
- 従来のスウェーデン式貫入試験機は、非常に重労働でしたが、本機は、回転を電動機で行う為スイッチを入れるだけで簡単に試験を行えます。
- 回転数が電子カウンターに表示されることにより回転数を簡単に読み取ることができます。
- 上下はロングストロークジャッキを使用している為、分銅をのせたまま楽に持ち上げる事が出来ます。
- 幅をせまく製作していますので、せまい場所でも１人で簡単に持ち運びができます。

（　使用方法　）

① まず測定したい場所に試験機を置き支持足を伸ばし、スタンドを倒し固定金具で試験機本体を固定します。昇降ハンドルを閉めジャッキで昇降フレームを持ち上げます。
電動油圧の場合ポンプのスイッチはカバーの側面にあります。このスイッチは３位置スイッチで、上部位置で ON、真中は OFF、下部は寸動の MON になっています。
通常の御使用の際スイッチは、ON の位置にセットし昇りはリモコンスイッチ・降りはバルブハンドルを御使用下さい。

② スクリュウポイントを８０ｃｍのロッドに取り付け、反対側にロッド取付具（T 型金具）を取り付け測定したい場所におきます。昇降ハンドル又はバルブハンドルをゆっくりと戻し、ロッド取付具に昇降フレーム下部の回転具を差し込みます。

③ この時（重りを乗せていない時）の重量は３００Ｎです。１００Ｎの重り２個と２５０Ｎの重り２個を置いた時の重量は１０００Ｎとなります。

＊注）ジャッキが下がりきった状態での重量となります。回転はジャッキが下がりきってから行なって下さい。

④ ON/OFF スイッチを上に入れますと試験方法通りに半回転に１回の割で電子カウンターに表示されます。スイッチを下に入れますと逆回転をしますが、通常は使用しません。電子カウウンターを０にする時はリセットボタンを押して下さい。
この後は試験方法通りに使用して下さい。

＜　注意　＞

：ﾁｪｰﾝ切れは重大事故につながる恐れがあります。定期的なﾁｪｰﾝ交換・御使用前の点検を行なって下さい。

：昇降フレームを下げる時は、昇降ハンドル・バルブハンドルをゆっくり操作して下さい。急なハンドル操作は、事故につながる恐れがあります。

：発電機は20A以上の製品を御使用下さい。起動電流時にAの容量が少なければモーターが焼ける恐れがあります。